

平成24年度第2回碧南市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 日時
平成25年3月21日（木）午後1時30分～午後2時35分
- 2 場所
碧南市臨海体育館 会議室
- 3 出席者及び欠席者
 - (1) 出席者
杉浦昌彦、杉浦民生、石川信夫、生田譲、杉浦宏幸、鳥居治、有本征世、伊藤泰子、古久根久美子、鈴木和代、角谷多恵子、長田良次、金沢宏治
 - (2) 欠席者
大竹有二、鈴木米生、角谷竜彦、伴野義雄
 - (3) 事務局職員
スポーツ課長 中根雄介、スポーツ課課長補佐 石川政仁・杉浦 潤、
スポーツ課主査 足立淳、藤浦威明、小嶋智子
- 4 傍聴者 2人
- 5 議題
 - (1) 平成24年度スポーツ課事業報告について
 - (2) 平成25年度スポーツ課事業計画について
- 6 議事の要旨
 - (1) 教育長あいさつ（長田良次教育長）
 - (2) 会長あいさつ（杉浦昌彦会長）
 - (3) 議題
 - (1) 平成24年度スポーツ課事業報告について
事務局が会議資料に基づき、社会体育事業報告について説明した。その後、審議した結果、了承された。
 - (2) 平成25年度スポーツ課事業計画について
事務局が会議資料に基づき、社会体育事業報告について説明した。その後、審議した結果、了承された。

<主な意見・質疑>

- 【委員1】資料P7の7(2)「海外の都市やスポーツ団体との積極的交流」について、どこまで話が進んでいるのか。
- 【事務局】検討委員会を2回開催し、大枠を決めている。市としては、実施計画に盛り込み、平成26年度に開始し、300万円（ただし、平成26年度予算はまだ見通しがついていない）で始めていこうと考えている。また、補助金方式で行う。平成25年度に話をもっと詰めていく予定である。
- 【委員1】資料P4の4(2)「全国大会等への出場に対する奨励金制度の充実」について、団体3というのは別団体が3つ出場したということか。

- 【事務局】それぞれチームが異なるため、3つの別団体が出場した。
- 【委員2】スポーツ教室について、平成24年度で行い、平成25年度で行わない教室はあるか。
- 【事務局】特にない。平成25年度について、レスリングは初めて開催し、アーチェリーは過去のスポーツ教室で開催したことはある。
- 【委員3】予算が限られているなかで、スポーツ教室の教室候補として、事務局はどのような基準で候補等を挙げているのか。
- 【事務局】指導者がいるか(指導ができる立場の方がいる競技団体があるか)、ニーズがあるか、老若男女・初心者でも比較的取り組みやすい種目であるか。以上のことを総合的に考えて選定を行っている。
- 【委員2】中学校の部活動強化の観点からみていくと、中学からスポーツを始めていては遅いため、子どもスポーツ教室の種目数を中学校の部活動に合ったものを含めてもう少し拡大し、幅を広げていくことはできないだろうか。また、へきなん南部総合型スポーツクラブにも同じようなことはできないだろうか。
- 【事務局】予算内で種目数を増やすことは可能である。スポーツ教室の対象を「子ども中心」に考えているのは確かである。その種目を今後続けていく子どもたちには、基本的にはへきなん南部総合型スポーツクラブへお願いしようと考えている(現状で言えば、バレーボールやバスケット種目)。その他スポーツ教室も、これからはなるべくへきなん南部総合型スポーツクラブで教室を開催してもらい、市スポーツ教室をへきなん南部総合型スポーツクラブへ委託していきたいと考えている。今後、話し合っ進めていきたい。
- 【会長】以上の話を聞くと、市スポーツ教室は縮小し、へきなん南部総合型へスポーツ教室をお任せするという流れだが、へきなん南部総合型スポーツクラブは体制として、指導員はいるのか。
- 【委員4】指導者は現在足りている。教室を申込み保護者としては、土日は子どもが父親と過ごす時間をとりたいと考えているため、教室開催を放課後(夕方)希望する意見が多い。そのため、夕方に対応できるその種目のプロ・学生ボランティア・団塊世代の方へ指導者のお願いをしたい。現在、競技スポーツに結びつけることへはまだ手が届かないが、運動苦手の子のための教室が欲しいという声を多数聞いている。
- 【委員3】中学校の部活動について、子どもが年々減っており、それに伴い、指導者も減らされるという現状である。保護者や子どもの要望を聞きながら行っているが、複数の顧問をあてる等となると現状のような形になってしまう。

【委員 4】へきなん南部総合型スポーツクラブとしては、教室から生まれてできたクラブは、スポーツ少年団に入ってもらい、中学校へ行っても競技を続けてやってもらおうという考えを持っている。

【委員 4】学校のプール開放が平成 25 年度からなくなってしまうのか。

【事務局】土日とお盆の期間をスポーツ課が借り上げ（消毒の液体を購入や監視員を雇う等）、プール開放を平成 24 年度まで行っていたが、そのスポーツ課主管で行うプール開放が平成 25 年度からなくなるという意味で、各学校が行うプール開放は平成 25 年度からも継続して行うので、誤解のないようにお願いしたい。

【事務局】碧南市は「財政再スタート宣言」として、平成 25～27 年と経常経費を切り下げていこうと考えがある。その中の流れとして、「使用料手数料の見直し（施設使用料だけでなく、社会教育関係団体の施設使用料半額免除も対象としている）」の考えがある。平成 25 年度で見直しを図り、平成 26 年度から料金改定があるような話があると聞いているため、この場を借りて説明させていただきました。